

＜避難訓練＞

9月1日（火）、学年ごとに大地震を想定した避難訓練を実施しました。9月1日は、「防災の日」です。これは大正12年9月1日に発生した関東大震災を教訓とし、「広く国民が台風、高潮、津波、地震等の災害についての認識を深め、これに対処する心構えを準備する」ために制定された日です。

重要なことは、避難訓練の経験や防災教育等を通して、学校生活の場面だけではなく、登下校の途中や休日に地震が発生した時など、近くに大人がいない場面でも自ら進んで対応できる力、つまり「危機回避能力」を身に付けることです。

中学生は助けられる立場ではなく、地域の方を助ける立場です。その意識を高め、避難の際の形式はもちろんのこと、「危機回避能力」を身に付けさせるためにも防災教育を充実させてまいります。

